

遺言書

一、遺言者 細川 玉 は、この遺言書で次のとおり遺言する。

ちりぬべき

時知りてこそ 世の中の

花も花なれ

人も人なれ

慶長五年七月一七日

大坂城下 玉造武家屋敷にて
細川 ガラシヤ こと 玉 印

※ 引用に用いた文献

その時歴史が動いた戦国編
女たちの関ヶ原 井上大助作
集英社